政策1　スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち

施策1　スポーツによるまちづくりを推進する

第1次計画での取組状況

誰もが、いつまでも自分の好むスタイルでスポーツに親しむとともに、マラソンや駅伝などのスポーツイベントを応援する機会の拡充に努めてきました。

スポーツを実践する市民の割合は横ばいでしたが、スポーツボランティアの制度化や全国レベルの大会が開催される数は目標値を達成しており、応援や支援する機会は確実に増加しています。

さらに、国際大会等で本市にゆかりがある選手の活躍が、本市のスポーツ振興に好影響をもたらしています。

スポーツ施設としては、埼玉県熊谷スポーツ文化公園の熊谷ラグビー場がラグビーワールドカップ2019の開催会場として選ばれ、更に施設が充実するほか、熊谷市スポーツ・文化村「くまぴあ」がグランドオープンし、熊谷さくら運動公園の施設改修も実施しています。

現状

スポーツ熱中都市宣言のもと、全国レベルの大会を支援することで応援協力の場を創出するとともに、活力ある地域づくりにスポーツ部門と観光・産業部門が連携して取り組む体制が構築されています。

埼玉県熊谷スポーツ文化公園は、プロスポーツの観戦、各種大会の開催、市民の健康増進やレクリエーションの場として幅広く活用されており、「くまぴあ」や熊谷さくら運動公園等の施設についても、様々なスポーツニーズに対応したスポーツ環境が整っています。

スポーツを実践する体制としては、体育協会、スポーツ少年団、レクリエーション協会等のスポーツ団体の活動支援を実施しており、各種教室や講習会の開催を通じてスポーツを実践するきっかけづくりに取り組むとともに、マラソンや駅伝大会でのスポーツボランティアの募集を通じた、スポーツ参画の機会拡充も図っています。

また、武蔵ヒートベアーズやアルカス熊谷といった本市を拠点とするチームの誕生や、本市ゆかりのトップアスリートの存在など、市民にとってトップレベルのスポーツが身近なものになりつつあります。

課題

地域のトップチーム、トップアスリートの情報の発信、協働、郷土への誇りと地域の一体感の醸成や、ラグビーワールドカップ2019開催に係る取組と連携したスポーツ施策の推進が必要です。

また、施設の老朽化による大規模な改修、改築を含めた採算性の確保に加えて、これまでの競技志向のスポーツ教室から、既存の施設での新しいスポーツ種目への対応や健康づくりや仲間づくりを目的とする手軽なスポーツ活動を行える場所の確保も課題です。

基本方針

スポーツ熱中都市宣言の理念のもと、スポーツ・レクリエーション団体、指定管理者と連携し、スポーツ教室や運動プログラムを開催するなど、活力ある市民社会の実現を図ります。

ラグビーワールドカップ2019に向けての取組を、ワールドカップレガシーとして継承し、市民のスポーツに対する関心を高めるとともに、ソフト・ハード両面でスポーツ環境の充実を図り、本市への来訪者の増加、スポーツによる活力あるまちづくりを目指します。

既存の公共施設の管理運営方法については、利用者ニーズや時代の要請に合わせて適宜見直しを行い、民間活力の活用も推進します。

施策の目標

成　果　指　標	現状値	前期めざそう値	後期めざそう値
スポーツ活動を「実践」している市民の割合	34.1%	65.0%	65.0%

単位施策 1

生涯にわたるスポーツ活動を推進する

誰もが自分にふさわしいスタイルでスポーツに親しみ、体力の向上、健康づくり、仲間づくりにつなげるとともに、スポーツ関連団体と協力し、スポーツに親しむ機会を拡充します。また、地域のトップチームやゆかりの選手の活躍を応援し、地域の一体感の醸成につなげるとともに、ラグビーワールドカップ2019、東京オリンピック・パラリンピックを契機とした取組により、スポーツを一層身近なものとします。

主な取組

- スポーツ団体の支援
- 指定管理者や民間事業者と連携した運動プログラムの開催
- トップアスリート、地元のトップチームと協力したスポーツ教室等の開催

単位施策 2

スポーツ環境の充実を図る

指定管理者制度、PFI、(市有地を活用した)民設民営といったPPP制度等民間活力の活用を推進します。

公共施設の改修や既存の利用形態を見直し、民間事業者の参入を促して、新たなスポーツ事業を実施するなど、ニーズの掘り起こしを図ります。

主な取組

- 民間事業者の参入を促す支援体制づくり
- スポーツ施設の計画的な改修

施策2 スポーツツーリズムを推進する

第1次計画での取組状況

本市では、「熊谷さくらマラソン大会」、「全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会」、「選抜高校女子サッカー大会」や全国レベルの陸上大会、Jリーグ（サッカー）、トップリーグ（ラグビー）など、市内外から多くの方が訪れる大会が開催されており、さらに、武蔵ヒートベアーズ、アルカス熊谷といった地域に密着したトップチームも存在します。

こうした多様なスポーツシーンの存在は、市民がスポーツを楽しみ、参画する機会の増加、スポーツを通じての交流人口の拡大をもたらしています。

また、これらのスポーツ大会・イベントでは、本市の魅力をアピールする機会と捉え、グルメや特産品の販売を地元商業者と連携して行っています。

現状

スポーツ熱中都市宣言のもと全国レベルの大会を支援することで、応援協力の場を創出するとともに、スポーツ部門と観光・産業部門が連携しながら、活力ある地域づくりに取り組んでいます。

課題

スポーツ会場を訪れる多くの方に対し、本市の地域資源を組み合わせながら魅力をアピールするなど、会場だけでなく、市街地や観光施設にも訪れてもらえるようなおもてなしを工夫して、スポーツを通じた交流人口拡大の取組を、滞留時間の延長、観光地への誘導、域内消費の拡大、商業の活性化へとつなげていくことが必要です。



熊谷さくらマラソン大会


選抜高校女子サッカー大会

基本方針

スポーツを、祭り・イベント・自然・歴史などと同様に観光資源と捉え、その参加・応援・協力を目的とする来訪者に対しても、本市の特長を生かした体験や新たな発見の機会となるおもてなし・サービスを提供することで、熊谷におけるスポーツ活動の魅力を高め、交流人口の拡大を図ります。

スポーツ大会・イベントの主催者に対する運営支援・一元的な情報提供やスポーツ来訪者の利便性につながる情報発信を行います。

さらに、スポーツ大会・イベントで構築される市民、企業・団体のネットワークを、スポーツに限らず様々の分野で活用し、地域の活力の向上、地域経済の発展へつなげます。

施策の目標

成　果　指　標	現状値	前期めざそう値	後期めざそう値
観光協会、民間団体・企業、市民等が支援する大規模大会の数	6	8	10

単位施策 1

スポーツと観光の融合によるスポーツツーリズムを推進する

スポーツを目的とする来訪者に対し、行政、観光協会、民間事業者、スポーツ団体等との連携によるサービスの提供体制の構築を支援しながら、スポーツ会場におけるにぎわいの創出を推進します。

主な取組

- 観光協会、民間事業者等と連携したスポーツ観光客へのおもてなしの支援

単位施策 2

スポーツに関するワンストップ窓口サービス体制を構築する

スポーツの主催者、来訪者、それぞれのニーズに対して柔軟に対応できるワンストップ窓口サービスを提供するとともに、地域のネットワークを活用しながら、交流人口の拡大を目指します。

主な取組

- 大規模大会の誘致
- スポーツツーリズムの推進

施策3 観光を推進する

第1次計画での取組状況

熊谷ブランドとして位置付けている「雪くま」や「熊谷うどん」、国宝「歓喜院聖天堂」をはじめとする地域資源の情報発信に加え、「熊谷さくら祭」、「熊谷うちわ祭」、「熊谷花火大会」といった本市を代表するイベントの運営や地域伝統行事の充実につながる運営支援を実施しました。

また、観光PRでは、「るるぶ」、「まっぷる」といった大手出版社のネームバリューを生かした観光情報誌を発行するとともに観光協会のホームページをリニューアルしました。

現状

本市では、「熊谷さくら祭」、「熊谷うちわ祭」、「熊谷花火大会」といったイベントを中心とする観光施策が大きなウエートを占めています。

また、聖天山周辺においては、「歓喜院聖天堂」が国宝指定を受けたことで、通年での集客が見込めることから、周辺の環境・景観整備に取り組むとともに、地元商店街の活性化や市民ボランティアの活躍等、受入れ体制の充実がみられます。

さらに、名物かき氷「雪くま」や、国内有数の生産量を誇る小麦を使った「熊谷うどん」、「フライ」などの粉物文化も熊谷ブランドとして定着し、観光資源の多様化につながっています。

課題

観光地としての知名度向上や交流人口の拡大につなげるため、本市の特長を生かした観光戦略、シティプロモーションのさらなる充実や、民営化した観光協会と行政とが連携し、柔軟な発想と機敏な観光施策を展開していく必要があります。

さらに、スポーツ環境が充実し、全国レベルの様々なスポーツ大会が開催される本市においては、スポーツを観光資源と捉え、観光協会、民間事業者等と連携した取組の充実や、交通の要衝としての地理的優位性を生かした周辺観光の起点ともなる「道の駅」等の整備・活用も課題です。


熊谷うちわ祭


熊谷花火大会

基本方針

交流人口の拡大とビジネスチャンスの創出を図るため、安心・快適な受入れ環境の構築を推進するとともに、祭り・イベント・物産の振興に新たな視点で取り組み、熊谷ブランドとしての付加価値を高めます。

また、広域的な観光連携の取組や、サービス向上につながる観光組織の構築に向けた人材育成にも取り組みます。

施策の目標

成　果　指　標	現状値	前期めざそう値	後期めざそう値
観光入込客数	3,932千人	4,398千人	4,548千人

単位施策 1

おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる

本市への来訪者に、ニーズに見合った観光情報、サービス提供を行うため、観光協会や民間事業者と連携して、情報提供体制やサービスメニューの充実を図ります。

主な取組

- 「まつりのまち熊谷」伝統行事の支援
- 熊谷ブランド物産の振興
- 関係団体と連携した観光ビジョンの構築



熊谷さくら祭



名物かき氷「雪くま」



全国ご当地うどんサミット in 熊谷



熊谷うどん